

研修交流会に出席して

(株)マルヨシドレス 代表取締役 木内達子

平成19年8月22日(水)、連日猛暑の中、梅田よりバスで一路和歌山へ、大阪府下女性会130名が2班に分かれて見学まいりました。(株)島精機製作所は、島 正博社長が若くしてニット編機の町工場として、全自動手袋編機の開発を一代で手がけられ、わずか45年の歳月で、世界中を轟かせる機械を作り上げられました。今やアパレルニット業界に縫い目のない編機を提供されていますが、設備の整った広大な工場内では、働く人々の努力や意欲が伝わってくる最高機能を目指したスローガンの下に、新しい可能性を追求される気持ちがひしひしと伝わってまいりました。世界の人々が、この機械で女性の美しいニット製品を作り出されているのかと思うと、頭が下がる気持ちでいっぱいでした。

その後、紀三井寺のご好意により、来年5月に大観音像が落慶されるのに先立って、拝顔させていただきました。目前にお立ち上がっておられるのを見て、金箔の立派なお姿に心より手を合わせてしまいました。

最後に、島社長ご夫婦、社員の皆さまに見送られ、車窓より和歌山城や市中を眺めながら、偉大な島社長に感謝しつつ、大阪へと帰ってまいりました。心よりお礼申し上げます。

北部ブロック研修会

的場商事(株) 取締役会長 的場ふみ

10月17日(水)13時から16時に、府商女性連・北部ブロック研修会が「インスタントラーメン発明記念館セミナーホール」で行われ、大商より19名、総勢78名の出席でした。

開会挨拶のあと講演に移り、講師の(株)キッチンカンパセーション代表取締役 田中愛子氏は、米国超セレブのホームパーティに日本料理をケータリングされたり、国内外に「家庭料理の楽しさ、美しさ」を幅広く広めることに力を注いでおられます。もう少し、詳しくお聞きしたいお話でした。

その後の見学では、故・安藤百福翁が昭和33年にチキンラーメンを開発した研究小屋に入り、当時をしのびました。「マイカップラーメン作り体験」では童心に返り、カップに絵や文字を書き、中味にメンや八種類の乾燥野菜のうち四種類を選んで入れ、密封も自動的に流れ完成、おみやげにいただきました。会員の心に何かを得た貴重な一日でした。

神農祭

進栄化学(株) 代表取締役社長 能島玲子

大阪・船場の道修町にある少彦名神社は、「神農」さんとも呼ばれ、その祭礼は、「神農祭」として大変にぎわっています。薬の町・道修町は、豊臣秀吉の大阪城築城の際、船場の一部に形成され、やがて100を越える薬種商が住む町となり、その後多岐に発展し、今日に至っています。江戸時代、長崎に輸入された漢薬を、一手に扱う薬種中買人達は、薬の真偽・品質の鑑定が非常に難しいので、日々神様にお祈りしながら任務を遂行してきました。漢方医学の医家や薬種商は、中国医薬の祖とされる神農氏の像や掛軸を床の間に祀っていたそうです。また、我が国の薬の神様といわれる少彦名命を、京都五條天神宮より分霊してお迎えし、以前から祀っていた神農氏と合祀したのが少彦名神社の起源です。少彦名命は、大国主命とともに、薬を使うこと・病気を癒すことを仕事とされた神様で、合祀後も神社は「神農さん」と愛称され、毎年11月22日・23日の祭礼は、「神農祭」と呼ばれて広く親しまれています。皆さんも商売繁盛、家内安全、無病息災を祈願してお参りされませんか。神農さんの五葉笹と張り子の虎は、さぞ御利益があることでしょう。

平成19年度の主な事業(後期)

平成19年

- 10月17日(水) 【大阪府女性会連合会】北部ブロック研修会
- 11月12日(月) 経営事例発表会 大商女性会
- 11月21日(水) 第5回原子力勉強会 大商女性会

平成20年

- 1月15日(火) 新年互礼会 大商女性会
- 2月13日(水) 経営事例発表会 大商女性会
- 3月中旬 【大阪府女性会連合会】総会&講演会

◆編◆集◆後◆記◆

今年の夏は猛暑が続き、やっと紅葉の季節となつてまいりました。

女性会の皆さま方におかれましては、益々お元気に経営に携わっておられることと存じます。

9月には、近畿の女性経営者が集う「近畿商工会議所女性会連合会総会・大阪大会」が盛大に行われ、その折には私たち女性会のために尾崎公子名誉会長から、大阪商工会議所に白い制服を寄贈していただきました。深く感謝申し上げます。

そしてこの度の秋号は、皆さんから寄せられた実のある充実した原稿並びに、行事に出席できなかった方にも分かる女性会の情報をNOWに掲載しておりますので、楽しみにご覧いただけたらと広報委員一同願っています。(広報委員会)

※掲載している役職は、全て開催当時のものです。

NOW

Vol.17
2007年 秋号

大阪商工会議所女性会創立50周年記念式典に向けて



大阪商工会議所女性会
副会長 北本 みず子

平成20年9月29日(月)、大商女性会は創立50周年を迎えることになりました。昭和33年、もはや戦後でないといわれた、激動・激変の時代、地域女性会の前身となる大商女性会の設立・発起に向け立ち上がり、ご苦労された当初役員の方々に敬意を表すとともに、今日まで大商女性会の発展にご尽力いただきました、歴代の会長はじめ、役員、会員皆さまの熱い情熱とご協力、そして、温かいお導きを心より感謝申し上げます。

当会は、数々の事業を積極的に取り組み、地域の女性会の振興に尽くし、近畿一円、また、全国の女性会のリーダーとして活躍し、現在、会員総数200名を擁する女性会の代表的な組織として発展し、50年という輝かしい歴史を築いてまいりました。

この記念すべき50周年を、大商女性会の一員として、皆さまとともに迎えることができますことは、誠に光栄であり、意義深いものと大変嬉しく思っております。

来る平成20年9月29日祝賀の記念式典をリーガロイヤルホテルにおきまして、ご来賓の皆さまをお迎えし会員の皆さまと盛大に開催させていただきたいと存じます。

式典の開催にあたり、創立50周年記念事業特別委員会を組織し、記念事業の企画運営を行わせていただきます。

活動内容につきましては、記念式典内容の検討・来賓招待状送付先などの検討・アトラクション、懇親会、寄附事業、記念誌、記念品などの企画立案〔通常総会時の資料参照〕などの事業を分担し、各担当委員会を設置し取り組んでまいりたいと存じます。

会員皆さまとともに、大商女性会の伝統と魅力あるパワーを発揮し、節目の年にふさわしい記念式典を開催し、成功させたいと存じます。何卒、ご支援ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪府商工会議所女性会連合会総会・講演会 相互タクシー(株) 代表取締役 小野幸親

3月23日(金)、シティプラザ大阪におきまして、大阪ガス(株)健康開発センター統括産業医の岡田邦夫先生のご講演を拝聴させていただき、ありがとうございました。

今回の講演テーマであります「健康経営」で学んだことは、良質の労働時間を確保するためには、従業員に対する健康診断や安全配慮・労働時間管理がいかに大切であるかということです。

私どもの産業形態も労働集約型でありますので、とても参考になりました。

近年、タクシー事業において、「安全の確保」と「サービスの向上」が最重要課題として取り上げられています。運輸行政が昨年10月にスタートした「運輸安全マネジメント評価」や、認証取得した「ISO9001品質マネジメント」は、実現を確実にするためのものだと考えております。

サービス業であり、事業所外労働であるタクシーは、肉体だけでなく、精神面の健康が接客態度に表れる職業です。精神と肉体の両面から従業員の健康を維持していくことが、お客様に良質なサービスを提供することにつながることを改めて感じた講演でした。

4月24日(火)、総務委員会主催の上方落語鑑賞会と食事会が開催されました。約40名のご参加で、先ず11時から老舗の風格漂う天満相生楼で昼食をいただきましたが、大女将さんが当女性会の会員でもあり、お心遣いを感じる結構なご馳走でした。

その後、真向かいの天神さんにお詣りし境内裏の繁昌亭へと移動しました。昼は自由席なので表で並んでいると、今回お世話になった天満天神繁昌亭支配人の恩田雅和様と天神橋筋商店連合会会長の土居年樹様がわざわざご挨拶に見えられて、一同たいへん恐縮した次第です。

繁昌亭はこじんまりと見やすい感じで、天井一面には寄附した人の名を記した提灯が下がり、舞台の緞帳は天神祭船渡御の人形船などのカラフルな模様で大阪らしさを出しています。場内は満員の盛況、桂きん枝さん、桂あやめさん達の落語や腹話術などで一同大いに笑いころげて、美味しく楽しい一日を過ごすことができました。

平成19年度 大商女性会通常総会 (有)井上エンタープライズ 代表取締役 井上紀久子

平成19年6月20日(水)、長谷川妙子会長の「女性会全会員が心をひとつにして、50周年へ向けて、大阪女性会を盛り立てていきましょう！」との力強い挨拶とともに、会員数206名、出席者81名、委任状35名で、総会が始まりました。次に、野村明雄大阪商工会議所会頭より、「9月11日に近商女性連合会では、大阪に集まって来られる800余名もの女性経営者の大きなパワーで、大阪が賑わい、活性化になる。」との、嬉しいお言葉をいただきました後、議案の審議へと移り、承認を経て、総会を終りました。

引き続き、尾崎公子名誉会長の「なにわの女性経営者は、虚栄や虚飾じゃない、心の琴線にふれる友情で強く結ばれて欲しい。また、大先輩方の並々ならぬ忍耐とご苦労の上に、今の女性会があることを想い、今期の大きな行事の成功に向けて、全員で頑張りましょう！」と、心のこもった乾杯のご発声で昼食会が始まりました。

食後は、大阪大学名誉教授で医学博士の大山良徳氏の講演「健康は実践第一ですよ」を拝聴し、90歳代の若々しい先輩、80歳代の元気な先輩方からハッパをかけられながら、若い会員もろともに身体を動かしストレッチ!!会場中、笑いのうちに、有意義で健康なひとときを過ごしました。



新入会員との懇談・懇親会を終えて オリムピア製菓(株) 代表取締役社長 富永道代

新入会員とのなごやかで楽しい懇親会が、平成19年7月19日(火)、会員15名、新入会員8名、合計23名が4卓のテーブルに分かれて行われました。

まず、長谷川妙子会長の開会挨拶、女性会の活動紹介の後、約1時間の懇談では、各テーブルから笑顔と溢れんばかりの力のこもった声、話に花が咲きました。

ご主人を亡くされ、何も知らない主婦が突然会社の社長となり、周りの方々に支えられて仕事をしてこられた方が多く、「ご子息が成人されるまでに会社の基盤を作りたいが、息子はどのように会社を継いでくれるのか?どのタイミングで次世代に会社を譲られるのか?」「結婚1年後に、ご主人と一緒に会社を起こし50年近くになり、事業を展開するたびに営業所が増えていき、同様に息子がどんな形で事業を継承できるのか?」という話でした。

また、多角経営をされている社長や先生と呼ばれる方より、「仕事をする事で癒されます」との話に、素晴らしいバイタリティ、目の輝きに本当の女性の強さを感じました。

中には、起業家の方もおられ、「来年の女性起業家大賞へのノミネートはこの方に!」という期待と喜びでいっぱいの懇親会となり、上西美智子副会長の閉会挨拶で終了いたしました。

なにより嬉しかったのは、参加者より、「本日は大変楽しかったです。次もぜひ」という声をいただいたことで、またこのような機会を設け、たくさんの方にご出席いただき、人と人の輪を広げていきたいと思っております。



平成19年9月11日(火)、ホテルニューオータニ大阪において開催されました。近畿2府5県の56の女性会から841人もの方々が参加して盛大に行われました。各女性会とも、それぞれ色鮮やかな飾りやマント、制服に身を包み、参加された方々が一同に会した様子は、色とりどりの花が咲いたようでありました。

第一部の総会は、長谷川妙子会長の挨拶とともに始まりました。「毎度おおきに!『賑わい』『笑い』なにわのまちへ」をキャッチフレーズにした今大会に際し、我々の元気・心の絆をひとつにしましょう」と呼びかけられました。前年度の事業報告、今年度の事業計画、会則の改正案が承認され、尾崎公子・同連合会前会長は名誉会長に選任されました。会場に隣接した物産展では22のブースで色々な品物が販売され、まさに「賑わい」そのものでした。

第二部の講演会は、「勝ち進む経営~私の経営観~」というテーマで、大和ハウス工業(株)代表取締役会長兼CEO樋口武男氏のお話を伺いました。「勝ち残る」ではなく「勝ち進む」ためには、変化を先取りできる柔軟な視点が必要であると仰っていたことが印象に残りました。

(下記ご参照ください)

第三部のアトラクションは、ラジオでも活躍中の音楽家でテノール歌手の加藤ヒロユキ氏とヴァイオリニストの金関 環氏、ピアニスト 裕 千保氏による演奏で、イタリア歌曲カンツォーネから日本歌曲までバラエティに富んだ選曲でした。すばらしい音楽と軽快なトークに、とてもなごやかな雰囲気に包まれました。

最後は、開催幹事である我々大商女性会のパフォーマンスでしめくりです。「商売繁盛で笹持って来い!」と音に合わせて笹を左右に振りながら、100名近くで会場を練り歩きました。一致団結して開催された大阪大会は、本当に元気と活気あふれる大会でした。



講演会をお聞きして

講演会をお聞きして印象に残ったことは、以下のことです。

幼少の頃、明治生まれのおばあちゃんの影響をたいそう受けた。

おばあちゃんからの教えは、「嘘とごまかしは絶対にあかん」「人に迷惑をかけることはあいならん」「闘ったら必ず勝て」である。例えばある日、おねしょをしてしまったが、川遊びに行きたい一心で、布団を丸めて隠し知らん顔ででかけた。ところが、気がついたおばあちゃんが血相をかえてつれ戻しにやってきて、すぐに納屋の柱にあら縄でくくりつけられた。食事を運んできた母親さえも「甘やかすな」としかりつけ、食事ぬぎのまま、涙もかれはてた夕暮にやっと解き放たれたことがあった。このように厳しく教えられたことで、この三つの教えが心にしみ、以来、ずっと信条となっている。

人は生まれた時、男女の区別もなく脳細胞の数も一緒なのに、能力などに差ができるのは、ただ一つ「やる気」の違いだ。自分はサラリーマン家庭に生まれ育ったので、若いころから自分で事業を起こしたかった。そんなある日、大和ハウス工業の記事を見て、この会社の門をたたいて鍛えてもらいたいと思っていた時に、歩合制セールスの募集記事を見て、25歳で同社に飛び込んだ。身重の妻と周りの心配をよそに、正社員で起用するように熱弁し、当時の人事課長のお陰で正社員として転職できた。人との出会いは、運・不運があり、自分は、先祖に見守られ、周りの方々の協力により「いい人」に出会うことができた。

オーナー経営者は、金もない、信用もない、後ろ楯もないところからのスタートで、尊敬と畏敬の念でいっぱいである。優れた人物とは、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉があるように、偉い人といわれていても、腰の低い人、相手の目線に合わせてくれる人でないと、尊敬の念は生まれてこない。

これからは、地域に密着して必要とされる企業が生き残る。選択と集中による利益追求型の一方的な考え方ではなく、ホームセンターのように、たとえ利益率が低くても地域の役にたつなら生き残ることができる。

今までの社会は、競いあう「競生」であったが、これからの社会は、ともに生きる「共生」の時代だ。人を育て、企業を育てることは、社会への貢献度も高い。世の中の変化を正確につかみ、先取りできる「人」と「企業」こそが、勝ち進むことができる。

終始熱心に、仕事にたち向う極意をお話していただきました。経営者にとってインパクトの強いお話で、誰一人として席を立つ人もなく、樋口氏の経営論に聞きほれてしまいました。